

課外活動の奮闘 弓道部が第73回 三十三間堂大的全国大会に参加

参加者の声 〈臨床検査学科3年〉伊藤真菜さん(通し矢)

令和5年1月15日に、京都府京都市にある三十三間堂で開催された第73回三十三間堂大的全国大会に参加しました。この大会は通称通し矢と呼ばれ、毎年を待ち受けた新成人や有段者が集まり、60m先の大的を狙い、弓力を競い合います。中でも二十歳を迎えた節目の年に色鮮やかな振り袖袴を身に纏い、弓を射ることができる一生に一度の記念に残る大会であり、参加できることをとても楽しみにしていました。大学から弓道を始めて参加資格である初段以上を目指して昇段審査に挑んだ部員も無事合格し、2年生全員で参加することができ、よかったです。 ※現在3年生 当時2年生です。



左から臨床検査学科3年/末松伶菜さん、三井心さん、伊藤真菜さん

令和5年度公認クラブ・サークル 今年は三つのサークルが新規設立!

〈体育会系〉

- バレーボール部
- バスケットボールサークル
- ダンスサークル
- ランサークル とことこ
- 弓道部
- 釣り部
- 運動部
- NEW テニスサークル
- NEW リフレッシュサークル

〈文化会系〉

- ボランティアサークル
- くれよん
- いろえんぴつ
- ハンドマッサージサークル
- 災害医療サークル
- 生理学研究会
- 生化学愛好会
- 顕微鏡愛好会
- NEW 軽音サークル



学内の様子

4月5日 キャンパス探索

今年は、新入生オリエンテーションの後、新3.4年生の学生ボランティアによる大学施設の紹介「キャンパス探索」を実施しました。新入生は、図書館やコンピュータ演習室の利用方法など大学生活について先輩から知ることができて満足した様子でした。



看護3年生前期授業科目「成人急性期援助論」演習風景

授業では、心肺蘇生法の手順、AEDの使用法、感染対策などの説明が行われ、学生は実際に人形を使用してデモンストレーションを行い、声のかけ方や、胸骨圧迫のタイミング、AEDの操作など一連の流れを学びました。



6月10日 オープンキャンパス

オープンキャンパスでは、看護学科・臨床検査学科の学生スタッフが実習体験や先輩と話そうコーナー等で参加者と触れ合い、参加者の疑問に答えてくれ大活躍です。



6月13日~16日 看護医療交流プロジェクト「りんかんシネマ」利用風景

りんかんシネマは、お昼休みのひと時に、医療系の学生が観ていただける映像を放映するイベントです。学生たちは、お昼ご飯を食べながら、有意義な時間を過ごしていました。



■学生相談室

毎週水曜日:11:00~16:00
毎週金曜日:13:00~16:00
臨床心理士 加藤美紀先生が担当してくださっています。

予約方法:QRコードを読み取り、予約フォームからご予約ください。



■ほけんしつだより

4月より教学課 保健担当をしております、中村文香です。ご入学、ご進級されてから4か月程が経過し、体やこころの調子はいかがでしょうか。相談したいこと、体調面で気になることがあれば、いつでもご相談ください。みなさんが心身ともに健康で過ごせるよう、サポートしていきたいと思っております。よろしくお祈りします。
保健室開室時間:平日11時~12時40分
その他の時間でも教学課にいますので、いつでもお声がけください。



オレンジの風

四日市看護医療大学
教学課
News

Vol.57
2023.8.1

Yokkaichi Nursing and Medical Care University

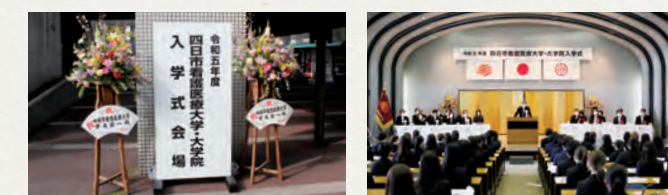
令和5年度 四日市看護医療大学・大学院入学式

令和5年度 四日市看護医療大学入学式を4月2日(日)に挙行いたしました。

今年度は看護医療学部生140名、大学院看護学研究科生6名が入学いたしました。

学長式辞では、柴田英治学長より「キャンパス内でお互いに切磋琢磨(せっさたくま)して、人間的にも成長してほしい」とメッセージが送られ、学部生代表の岡田遥愛さん(看護学科1年)、大学院生代表の矢田恵巳さん(看護学研究科1年)から入学生宣誓が行われ、それぞれの決意が述べられました。また、本学関係者に加え、森四日市市長を始め多くの来賓の方

にもご参列をいただき、心温まる祝辞を頂きました。新入生の皆様の本学へのご入学を心より歓迎いたします。



新入生代表者の声

〈看護学科1年〉岡田 遥愛さん



大学に入ってから2ヶ月が経ちました。この期間は、多くの新しい経験や挑戦に直面しました。入学前は、友達と話したり、SNSで調べたりして、大学生活について想像をしていました。実際の大学での授業は、高校までとは違い、内容が難しく、課題も多くて慣れるまでが大変でした。しかし、自分の学びたい分野を選択し、勉強できることが新しい経験でとても楽しいです。また、新しい友達もでき、協力し合い、少しずつ成長していることを実感しています。

今後、4年間の大学生活で様々な知識を身につけて、看護師になるための経験を多く積むことが目標です。自分の理想とする看護師になれるように、悔いのない大学生活を送れるようにしたいです。

〈看護学研究科看護学専攻1年〉矢田 恵巳さん



「生涯、臨床現場の看護師であり続けたい」長年の経験を経て、看護師長になり7年。これまでも、決して学ぶ機会がなかったわけではありませんでしたが、振り返ってみると「看護」のこと「管理」のことを自分の言葉で伝えられないことに気づきました。もう一度丁寧に学びたいという思いで、大学院へ進学する決意をしました。入学して早2か月が過ぎ、仕事と学生生活は予想をはるかに上回る大変さを痛感する日々です。と同時に、仲間と切磋琢磨し合いながら過ごす日々喜びを感じつつ、学ぶこと・理解をすることの楽しさも抱いております。限られた時間の中ではありますが、少しでも多くを学びそれぞれの目標に向かって、仲間とともに一歩一歩前進していこうと思います。

新入生の声

〈臨床検査学科1年〉市川 翔大さん



入学してからあっという間に2ヶ月の月日が過ぎました。入学当初、男子があまりにも少なくとても心配していました。しかし、すぐに仲良くなることができ今ではとても楽しい大学生活を送ることができています。先生との距離感も近くすごく優しく接してくださるのでとてもいい環境の中で学修することができています。医療のことなので学修内容は難しいものばかりですが頑張っていきたいと思っております。

長江拓子奨学金授与式 令和5年度 長江拓子奨学金授与式を7月5日(水)に行いました。

長江拓子先生は本学で教鞭をとられた後、顧問としてお力添えをいただきました。先生から頂戴した寄付金を基に創設された奨学金は、本学の学生がより一層学習意欲を高め、看護専門職業人となる人材の育成に資することを目的としています。

学業成績、本学および社会への貢献などから審査し、看護学科2年生 辻美咲さんが奨学生として選出されました。授与式では、柴田学長から激励のお言葉とともに賞状と奨学金が授与され、奨学生の方には、さらなる活躍を期待します。



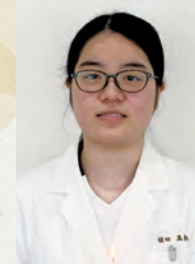
臨床検査学科3年生 臨地実習宣誓式

いよいよ総合臨床
実習スタート!



6月12日から臨床検査学科3年生対象の臨地実習がスタートしました。それに先立ち、5月19日宣誓式を行いました。今年度は、父母等の方にもお越しいただき、真剣に聞き入る学生の姿を見ていただくことができました。

〈臨床検査学科3年〉植田 真矢さん



臨地実習宣誓式を終えて、医療における臨床検査技師の役割と責任を持ち、臨地実習では慎始敬終を實行するという意思を強めることができました。宣誓式では、宣誓者退場の際、共に学んできた同期生の顔を見て、臨床検査技師になる門口に立つことができたと感じました。臨地実習では、入学してからの約2年間、毎日初志貫徹の精神で勉強を続け、培ってきた知識や技術を磨いていき、理想の臨床検査技師に近づけるよう全力を尽くしたいです。

〈臨床検査学科3年〉渡邊 陽太さん



臨地実習宣誓式を終えて、より強く医療従事者としての責任を自覚することができたと思います。やはり実習先では実際に患者様と接する機会があるため、話し方や態度には気をつけるべきだと思います。これまで学んできた知識を活かして実習先で成果を發揮したいです。医療現場での臨床検査技師の活躍をこの目で見ることで自分の将来像を明確にしたいです。

看護学科4年生 臨地実習レポート

令和5年度統合実習を終えて

実習期間 5月1日~5月19日
実習目的 既習の知識と技術を統合・応用し、さまざまな看護場面における看護実践能力を高める。

〈看護学科4年〉辻 百花さん (実習先/みつき総合病院)



私は嚥下障害のある2人の高齢患者さんを受け持ちました。同じ嚥下障害でも個々で障害の程度が異なり、原因疾患や食習慣・好み等も異なるため、個別性に合わせた援助が必要であり、特に強みや残存機能を活用することが重要だと感じました。複数の患者さんを受け持つことは、優先順位を考え、効率的に進めなければならないため、時間管理の大切さを学びました。また、患者さんと関わる際には、患者さんの些細な変化を見逃さないように日々意識しながら援助を行い、他職種の職員の方々と情報を共有して、医療チーム全体で患者さんが安全・安心に療養生活を送ることができるように協働していくことが必要であることを学びました。

〈看護学科4年〉山本 大雅さん (実習先/北勢病院)



私は、精神看護領域で閉鎖病棟に長期入院している一人の男性患者を受け持たせていただきました。精神疾患を持つ患者さんは症状の変化が激しいため、日々状態の観察を行っていくことが大事だと考えます。私は患者さんの好きな迷路や間違い探しなどを介したコミュニケーションを行うことで患者さんの状態が安定し少しずつですが笑顔を見ることができました。この経験から精神疾患が患者さんの日常生活にどう影響を及ぼしているのか、どうしたら良い状態を維持することができるのかを判断していくことの難しさや関係性の構築の重要性について学ぶことができました。患者さんの状態を判断し医師・看護師・栄養士・作業療法士等とチームで連携し、今後の方向性を考えていくことの重要性についても学ぶことができた実習になりました。

学友会とは?

本学の学生が中心となって活動している学生団体自治組織です。
新入生歓迎会、クラブ・サークル活動支援、親睦運動会、大学祭……など、様々なイベントの企画・運営を行っています。大学生活に彩りを添える楽しいイベントの数々、学友会のメンバーとなって一緒に考えてみませんか？
メンバーは常に募集中です！

学友会からの メッセージ



こんにちは。令和5年度学友会会長を務めます2年生川合希望です。まだまだ未熟なところもありますが、四日市看護医療大学に入学してよかったと思えるような大学生活をおくれるよう、様々な企画を考えていきたいと思っております！
精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。

新入生歓迎会

新たに105+35人の大学生活が始まります。



4月5日(水)、学友会主催の新入生歓迎会が行われました。看護学科と臨床検査学科が別教室で行い、クラブ・サークル紹介では二つの教室をzoomで繋いで行いました。
ほぼ初対面でなかなか話づらいアイスブレイクタイムには、先輩方が話さきっかけを作り、終始和やかなムードでした。
氷も解けてきたところで行われたビンゴ大会は、まさに白熱の試合。学友会が用意した魅力的な景品を前に、やる気も上がったようです。
看護学科では初ビンゴがなんと二人現れ、狙う景品も全く同じという波乱が巻き起こりました。数回のあいこの末に勝者が決まり、会場の熱気も冷めやらぬままビンゴが続出する展開となりました。
楽しい時間はあっという間に過ぎてしまいましたが、不安も多い新学期に向けて良いスタートを切れたのではないかと思います。

親睦運動会

6月3日(土)、学友会主催の親睦体育大会が開催されました。

前日の台風と打って変わった快晴で、熱中症対策も万全な中気持ちよく運動できたようです。じゃんけん列車などのアイスブレイク競技から始まり、障害物競争、ドッジボールがそれぞれチーム対抗で行われました。障害物競争やドッジボールには臨床検査学科の先生も参加し、学生たちと楽しんでいました。

今年度は一年生の参加率が高かったようです。先輩たちや同級生ともさらに仲が深まったことでしょう。

体育館競技が大いに盛り上がった後は、教室に移ってビンゴ大会と表彰式、閉会式が行われました。表彰式では各チーム一人のMVPとチームの順位が発表されます。順位は1位・黄色、2位・ピンク、3位・青、4位・赤という結果になりました。1位の黄色チームには一人ずつ豪華な景品が配られ、各チームのMVPIにもギフトカードが贈呈されました。優勝チームに景品があると知り、負けてしまったチームはより残念そうな表情。来年また参加して、ぜひ優勝を目指してもらいたいです。

